



X series® / ignite®



3 series®



スターキー耳かけ型補聴器

取扱説明書

高性能耳かけ型補聴器をお好みの方に

この度はスターキー耳かけ型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際には再読下さい。

フィッティングサービスの重要性

補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

目次

1. 安全にお使いいただくために.....	4	10. 電話をかける時は.....	20
2. 各部の名称.....	6	磁石の取り付け方	
3. シリアルナンバーなどの記載事項.....	9	11. 自己診断を行うには.....	22
4. 電池の交換.....	10	12. オーディオシューについて.....	23
電池シールについて		13. 耳垢防止を交換するには.....	24
電池交換のお知らせ音		14. お手入れをするには.....	26
5. 電池のフタのロックのかけ方.....	13	15. お知らせ音について.....	27
6. 補聴器を装用するには.....	14	16. 販売店様へ.....	29
7. 電源の入／切.....	15	17. おかしいと思ったら.....	30
8. 音量を調整するには.....	16	18. 回路ガイド.....	32
9. メモリーを変更するには.....	18	薬事法第63条の規定による表示	
		保証について	

1. 安全にお使いいただくために

警告／注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。



取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



- ◆ 補聴器本体を、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意して下さい。もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師にご相談ください。

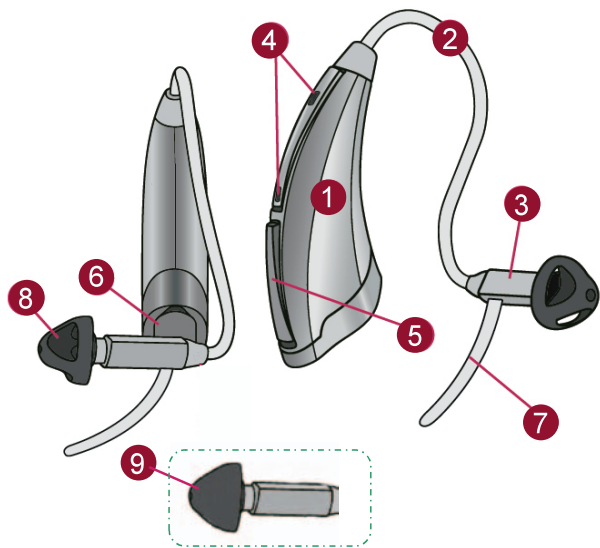
⚠ 注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- ◆ 電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。故障の原因になります。



2. 各部の名称

<RIC312の場合>



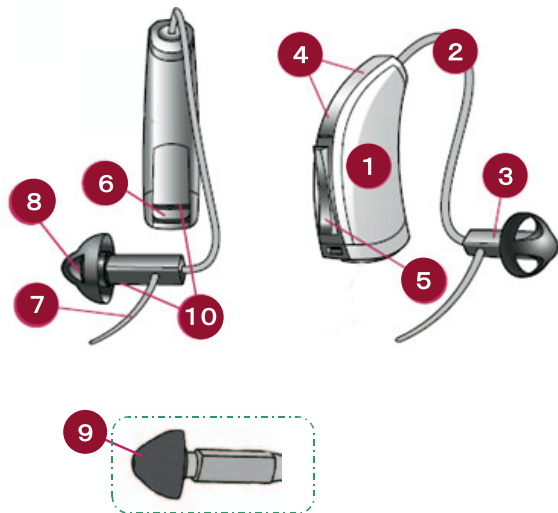
- ① 補聴器本体
- ② レシーバケーブル
- ③ レシーバ
- ④ マイク
- ⑤ プッシュボタン
- ⑥ 電池のフタ
- ⑦ リテンション
- ⑧ オープン用スマートイヤチップ
- ⑨ スマートイヤチップ

<RIC13の場合>



- ① 補聴器本体
- ② レシーバケーブル
- ③ レシーバ
- ④ マイク
- ⑤ タッチパネル
- ⑥ 電池のフタ
- ⑦ リテンション
- ⑧ オープン用スマートイヤチップ
- ⑨ スマートイヤチップ
- ⑩ 左右の目印
赤:右耳用 青:左耳用

<3シリーズの場合>



- ① 補聴器本体
- ② レシーバケーブル
- ③ レシーバ
- ④ マイク
- ⑤ シーソー式スイッチ
- ⑥ 電池のフタ
- ⑦ リテンション
- ⑧ オープン用スマートイヤチップ
- ⑨ スマートイヤチップ
- ⑩ 左右の目印
赤:右耳用 青:左耳用

3. シリアルナンバーなどの記載事項

シリアルナンバー(例: 12-345678)

補聴器本体または電池のフタに記載されたシリアルナンバーは、補聴器を調整する際に大切な情報となります。

◆レシーバ



左右とサイズの表示

赤: 右耳用

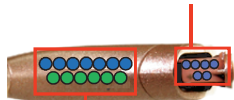
青: 左耳用

ケーブルサイズ: 1~5

◆補聴器

<RIC312の場合>

シリアルナンバー



補聴器の名前

X series 110 / 90 / 70

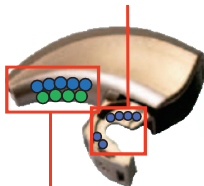
Ignite 30 / 20

製造メーカー名

Starkey

< RIC13の場合>

シリアルナンバー



補聴器の名前

X series 110 / 90 / 70

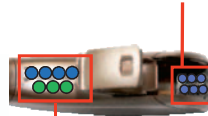
Ignite 30 / 20

製造メーカー名

Starkey

<3シリーズの場合>

シリアルナンバー



補聴器の名前

3 series 110 / 90 / 70

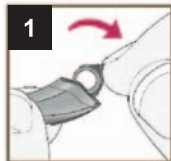
30 / 20

製造メーカー名

Starkey

4. 電池の交換

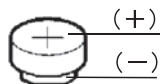
<RIC312の場合>



電池のフタに爪をあて、
矢印の向きに開きます。



使用済みの電池を
取り出します。



電池の(+)面を上
にして入れます。



電池のフタをもと
どおりに閉めます。

<RIC13の場合>



電池のフタに爪をあて、
矢印の向きに開きます。



使用済みの電池を
取り出します。

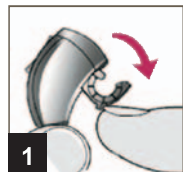


電池のフタには(+)記号
が表示されています。
電池の(+)面を上にして
入れます。

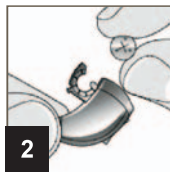


電池のフタをもと
どおりに閉めます。

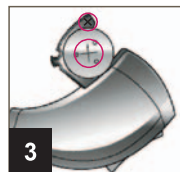
<3シリーズの場合>



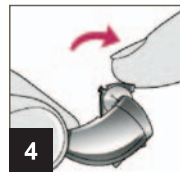
電池のフタに爪をあて、
矢印の向きに開きます。



使用済みの電池を
取り出します。



電池のフタには(+)記号
が表示されています。
電池の(+)面を上にして
入れます。

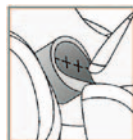


電池のフタをもと
どおりに閉めます。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
RIC312、3シリーズ	PR41(312) / 茶色
RIC13	PR48(13) / オレンジ

<電池シールについて>

電池シールは使う直前にはがしてください。



<電池交換のお知らせ音>

電池電圧が低下すると、電池交換のお知らせ音が鳴ります。

お知らせ音が鳴りましたら、できるだけ早く電池を新しいものに取り換えてください。

「15. お知らせ音について」(P.27)も併せてご覧ください。

警告

- ◆ 電池は、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 使用済みの電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

注意

- ◆ 電池を交換する際には、必ず電池フタに正しくのせてから、電池のフタを閉めてください。電池をフタにのせず直接補聴器内に入れると、故障の原因になります。

5. 電池のフタのロックのかけ方

対象:RIC13、3シリーズ

お子様が電池を誤飲する危険を防ぐために、チャイルドロックが付いています。

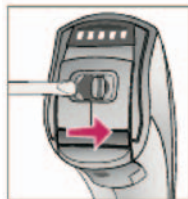
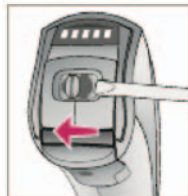
<ロックをかける>

マイナスドライバーなどで、埋め込み式のスイッチをカチッというまで左にずらします。色のついた印が見えます。

<ロックを解除する>

マイナスドライバーなどで、埋め込み式のスイッチをカチッというまで右にずらします。色のついた印が消えます。

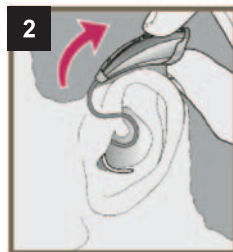
RIC13
3シリーズの場合



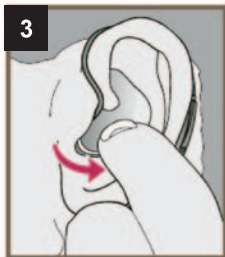
6. 補聴器を装用するには



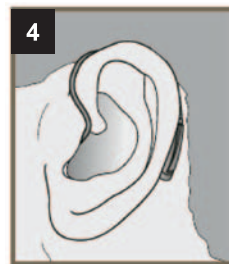
1 イヤチップを耳の穴に入れます。



2 補聴器本体を耳の上に置きます。



3 リテンションを耳のくぼみに固定させます。



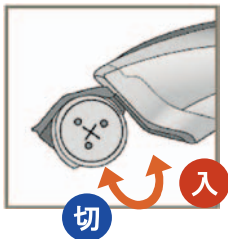
4 装用完了です。

7. 電源の入／切

電源入 電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切 電池のフタを開けると、電源が切れます。

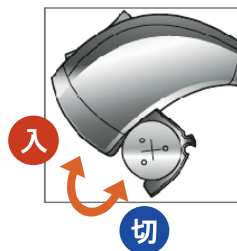
<RIC312の場合>



<RIC13の場合>



<3シリーズの場合>



⚠ 注意

- ◆ 電源を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。
補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして、電源を切ってください。

8. 音量を調整するには

<RIC312、RIC13の場合>

RIC312はプッシュボタンで、RIC13はタッチパネルで調整を行います。

※「設定1」「設定2」のどちらの設定になっているか、お求めいただいた販売店にご確認ください。

RIC312

プッシュボタン



RIC13

タッチパネル



設定1

大きい



やや大きい



標準



やや小さい



小さい

プッシュボタンを押す/タッチパネルをタッチすると音が小さくなり、最小になると大きくなります。

設定2

大きい



やや大きい



標準



やや小さい



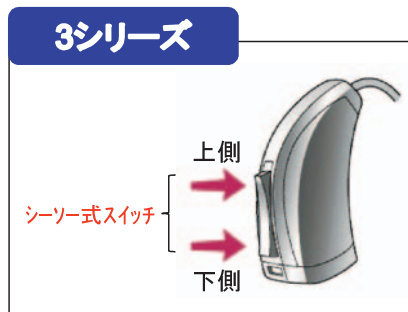
小さい

プッシュボタンを押す/タッチパネルをタッチすると音が大きくなり、最大になると小さくなります。

※電源を入れた時は、標準の状態です。

<3シリーズの場合>

3シリーズはシーソー式スイッチで調整を行います。



大きい



標準



小さい

シーソー式スイッチの上側を押すと音が大きくなり、下側を押すと音が小さくなります。

※電源を入れた時は、標準の状態です。

⚠ 注意

- ◆操作部(プッシュボタン・タッチパネル・シーソー式スイッチ)を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

9. メモリーを変更するには

<RIC312、RIC13の場合>

RIC312はプッシュボタンで、RIC13はタッチパネルで変更を行ないます。

プッシュボタンを押す/またはタッチパネルをタッチすると、メモリーの設定を順に切替えることができます。

メモリー1 ※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。



ボタンを押す/タッチすると、お知らせ音が鳴って、メモリー2に切替わります。

メモリー2



ボタンを押す/タッチすると、お知らせ音が鳴って、メモリー3に切替わります。

メモリー3



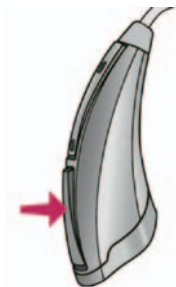
ボタンを押す/タッチすると、お知らせ音が鳴って、メモリー4に切替わります。

メモリー4

ボタンを押す/タッチすると、お知らせ音が鳴って、メモリー1に切替わります。

※メモリー2～4は、無効に設定することができます。

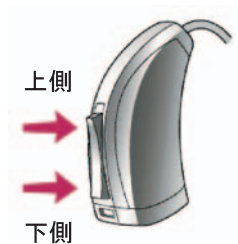
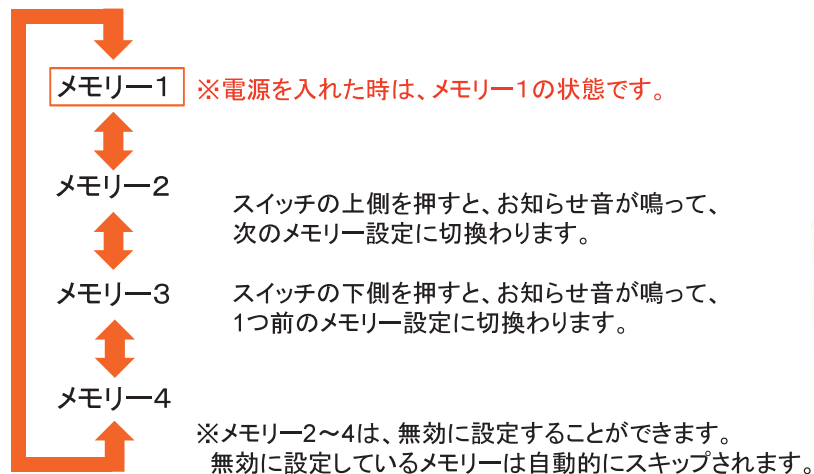
無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。



<3シリーズの場合>

3シリーズはシーソー式スイッチで変更を行ないます。

シーソー式スイッチの上側または下側を押すとメモリーの設定を切替えることができます。



10. 電話をかける時は



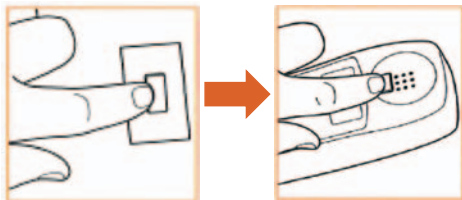
受話器を耳に近づけると、電話専用の調整に自動的に切り替わります。

※ 受話器を補聴器のマイク部分に当てるようにすると、うまく切り替わります。



受話器を耳から離すと、通常モードに戻ります。

磁石の取り付け方



切り替わりが弱い場合は、磁石を受話器に取り付けてご使用ください。

両面テープを片面に貼り、図のようにしっかりと固定してください。



警告

- ◆ 磁石は心臓機器（ペースメーカー、細動除去器、能動型埋込式医療機器など）の医療機器に影響を及ぼす可能性があります。ご使用前に必ず医師にご相談ください。
- ◆ 磁石を飲み込んだり、耳の中に落としてしまった場合は、直ちに医師にご相談ください。



注意

- ◆ コードレス電話、または携帯電話には機能しない場合があります。
- ◆ 磁石をテープで貼り付ける場合には、スピーカーの穴を全てふさがないようにしてください。

11. 自己診断を行うには

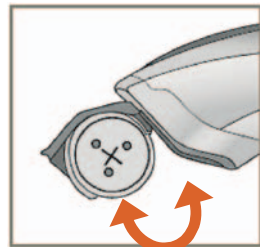
対象：Xシリーズ(110、90、70)のみの機能です。

回路・レシーバ・マイクの状態をチェックできます。

<方法>

- ① 電池のフタに電池を入れ、フタの開け閉めをゆっくり3回連続で行います。
- ② 補聴器を耳の中に入れます。
- ③ しばらくすると「ビー」という音がして、自己診断が開始します。
- ④ その後、自己診断結果が聞こえます。
 - 合格の場合：「良好です」（ビープ音の場合「ピポパ ピポパ」）
 - 不合格の場合：「予約します」（ビープ音の場合「ビーポー」）

※不合格の場合には、販売店へご相談ください。



3回

⚠ 注意

- ◆ 自己診断機能をご使用になるには、事前に販売店で設定を行なう必要があります。

12. オーディオシューについて

※対象: RIC13、3シリーズ
(オプションになります)

補聴器に専用のオーディオシューを接続すると、FMシステムなどを使うことができます。

※FMシステムは取り扱いメーカーにお問い合わせください。

<取り付け方>



オーディオシューの黒い部分を補聴器のくぼみにあてます。



矢印の向きにオーディオシューを取り付けます。



フックがカチッとまったら取り付け完了です。

<取り外し方>



矢印の部分から、オーディオシューを取り外します。



<オーディオシューを付けたまま、電池を交換する方法>

矢印の部分を押すと、電池のフタのフックが外れます。



電池のフタを矢印の向きに開き、電池を交換します。

⚠ 注意

- ◆ オーディオシューは弊社純正品をご使用ください。
純正品以外をご使用になると、故障の原因になる他、脱落するなどの恐れがあります。

13. 耳垢防止(ホワイトワックスガード)を交換するには



※ホワイトワックスガード(ワックスガード標準品)はお客様による交換が可能です。
下写真と形状が異なるワックスガードの場合は販売店にご相談ください。

ホワイトワックスガード(耳垢防止)



※先端がメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前に、ホワイトワックスガードを交換してください。



交換キットの
がま口部分を開けます



交換用キットには
8本入っています



新しい
ホワイトワックスガード

取り外し側







⚠ 注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ ワックスガードの淵は補聴器の先端に対して必ず平らになるよう装着して下さい。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますので御注意下さい。



※スマートイヤチップをまっすぐ引き抜いてから、交換して下さい。

<手順>

-  ① 新しい棒を取り出します。
-  ② 棒の取り外し側を、補聴器のレシーバ孔に軽く当て時計回りにゆっくり回します。
-  ③ 棒をまっすぐ引き抜きます。
-  ④ 棒を180度回転させます。
-  ⑤ 棒の反対側についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます。
-  ⑥ 取り外したホワイトワックスガードは棒と一緒に廃棄してください。
※ 棒は再利用できませんので、使用後廃棄してください。
※ ホワイトワックスガードと棒、交換用キットのケースはプラスチックです。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

14. お手入れをするには



1

補聴器本体表面は、汗や水、汚れなどをはじいて付着しにくい撥水加工が施されています。

ただし、本体表面に水滴がついたまま、電池交換をすると電池室内部に水が入るなどして、腐食や故障の原因になる場合があります。

水分や汚れが付着した際は、柔らかい布などで、速やかに拭き取って下さい。



2

付属のブラシや綿棒を使い、付着している耳垢やホコリを取り除いてください。

注意

- ◆ スマートイヤチップは弊社純正品をご使用ください。
純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。

スマートイヤチップの取付・取り外し方法



イヤチップをしっかり保持してレシーバの根元をしっかり持ち、ひねらずにまっすぐ抜くと、イヤチップを取り外すことができます。

取り付ける際には、イヤチップをしっかり保持して、レシーバの先端を差込みます。

15. お知らせ音について

電池交換時期、メモリー切換え、自己診断の結果など、補聴器の状態を音声（日本語 / 外国語、男声 / 女声）またはユニークな音（ビープ音）でお知らせすることができます。
設定については、販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語（男声 / 女声）	ビープ音
電池交換 電池を交換してください	電池	ピーポーパーポ
パワーオン 電源が入りました	ターラリラン （メロディ音）	プー
メモリー変更 イチ（ニ、サン、ヨン）のメモリーに切り換わります	イチ（ニ、サン、ヨン）	プ（ププ、プププ、ププププ）
電話 電話特性に切り替わります（オートマチックホン）	※ビープ音と共通	ピロリロリー
ボリューム最大	※ビープ音と共通	ピロピロピロピロピロ（5回） プー

お知らせの内容	日本語(男声/女声)	ビーブ音
ボリューム上げる	※ビーブ音と共通	ピロピロ・・・(ボリュームによって回数が変わります)
最適ボリューム位置	※ビーブ音と共通	ピロピロピロ(3回)
ボリューム下げる	※ビーブ音と共通	ピロピロ・・・(ボリュームによって回数が変わります)
ボリューム最小	※ビーブ音と共通	ピロ(1回)プー
自己診断:合格 自己診断の結果、合格です ※Xシリーズ(110,90,70)のみの機能	良好です	ピポパ ピポパ
自己診断:不合格 自己診断の結果、不合格です ※Xシリーズ(110,90,70)のみの機能	予約します	ピーポー
T2起動 T2オンデマンドを開始します	※ビーブ音と共通	ポピー ポピー

16. 販売店様へ

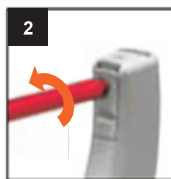
対象: RIC13、3シリーズ

補聴器出荷時は、左右の目印は付いていません。
電池室への湿気の侵入を防ぐためにも、販売する前に右左の目印を挿入してください。
これにより左右の識別が簡単に行え、誤使用の防止にもなります。

<RIC13の場合>



左右識別棒を電池ドアの穴に挿入します



棒を左に回します。

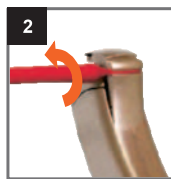


棒を引き抜きます。

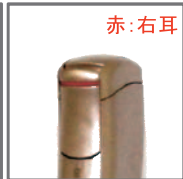
<3シリーズの場合>



左右識別棒を電池ドアの穴に挿入します。



棒を左に回します。



棒を引き抜きます。

17. おかしいなと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなど、おかしいなと思ったら、修理に出す前に、以下の内容をご確認下さい。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	○補聴器が正しく装用されていない	○取扱説明書の「6. 補聴器を装用するには」をご覧になり、正しく装用してください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音がとぎれる	○電池の消耗	○電池を交換してください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	対処法
音が小さい	○電池の消耗	○電池を交換してください。
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください。
	○マイク開口部の目詰まり	○マイク開口部を掃除してください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	○電池の極性が逆	○本取扱説明書の「4. 電池の交換」をご覧ください。正しい向きに入れてください。
	●補聴器内に異物	●販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

注意

- ◆ 電池のフタを閉める際に、力を入れすぎると破損の原因になります。閉まりにくいと感じたら、電池の向きや補聴器の中に異物が入っていないか確認してみてください。異物が入っている場合、無理に取り出そうとすると、内部が破損する原因になります。このような場合には、販売店にお問い合わせください。

18. 回路ガイド: JIS C 5512:2000の7項で要求されている表示項目

<RIC312、RIC13の場合>

項目	単位	50dBゲインレシーバ*		70dBゲインレシーバ (アプソリュートパワー)	
		RIC312	RIC13	RIC312	RIC13
名称		Xシリーズ耳かけ型			
形式名		耳かけ型補聴器			
製造業者又はその名称		スターキージャパン株式会社			
製造年月日又はその略号		本体に表示			
電池の電極端子の正負		本体に(+)表示			
規準周波数	Hz	1,600			
入力音の入射方向		前方			
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	dB SPL	130	141	
	1,600Hz		116	135	
	500Hz		110	125	
最大音響利得	1,600Hz	dB	51	75	
規準周波数レスポンス		添付文書参照			
誘導コイル入力の周波数レスポンス及び最大感度		dB SPL	添付文書参照		
等価入力雑音レベル		dB SPL	32以下		

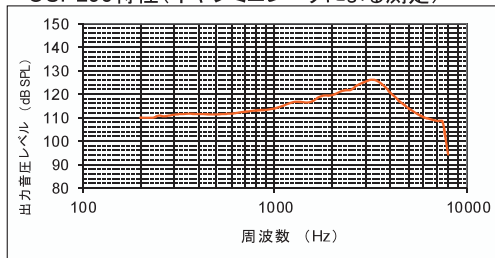
項目		単位	50dB ϵ インリーパ [*]		70dB ϵ インリーパ [*] (アブソリュートパワ-)	
			RIC312	RIC13	RIC312	RIC13
使用する電池の種類、形式及び電圧			空気電池(1.4V) 1個			
			PR41	PR48	PR41	PR48
電池の電流		mA	1.45	1.45	1.7	1.7
電池寿命		時間	100	175	85	150
全高調波ひずみ	500Hz	%	5		5	
	800Hz		3		3	
	1600Hz		3		3	

JIS C 5512:2000に基づいて測定されています。

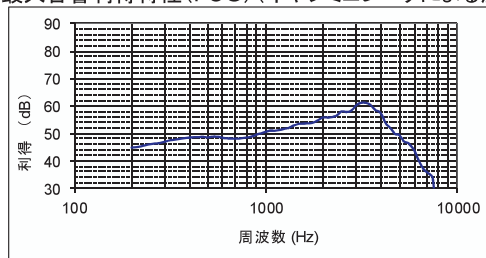
電池寿命は使用状態によって変化します。仕様は予告なく変更される場合があります。

1) 50dBゲインレシーバ

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)

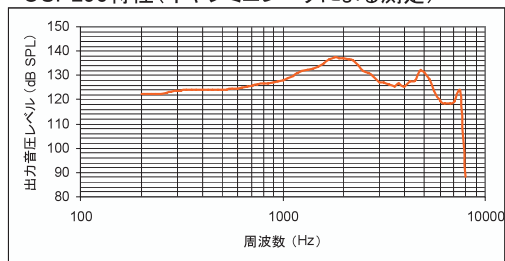


最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)

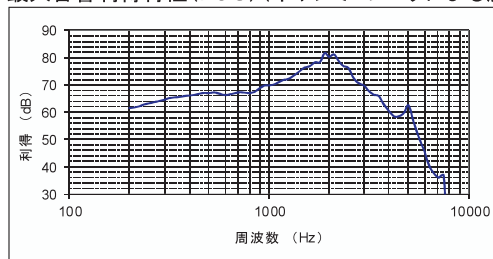


2) 70dBゲインレシーバ(アブソリュートパワー)

OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)



<3シリーズの場合>

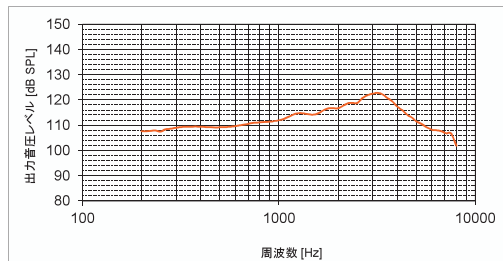
項目		単位	50dBゲインシーバ	70dBゲインシーバ (アブソリュートパワー)
名称			Xシリーズ耳かけ型	
形式名			耳かけ型補聴器	
製造業者又はその名称			スターキージャパン株式会社	
製造年月日又はその略号			本体に表示	
電池の電極端子の正負			本体に(+)表示	
規準周波数		Hz	1,600	
入力音の入射方向			前方	
90dB最大出力音圧レベル	ピーク	dB SPL	130	141
	1,600Hz		115	136
	500Hz		111	122
最大音響利得	1,600Hz	dB	50	75
規準周波数レスポンス			添付文書参照	
誘導コイル入力の周波数レスポンス及び最大感度		dBSPL	添付文書参照	
等価入力雑音レベル		dB SPL	32以下	

項目		単位	50dBゲインレシーバ*	70dBゲインレシーバ* (アブソリュートパワー)
製造年月日又はその略号			本体に表示	
使用する電池の種類、形式及び電圧			空気電池PR41(1.4V) 1個	
電池の電流		mA	1.45	1.55
電池寿命		時間	100	90
90dB最大出力音圧レベル	500Hz	%	5	5
	800Hz		3	3
	1600Hz		3	3

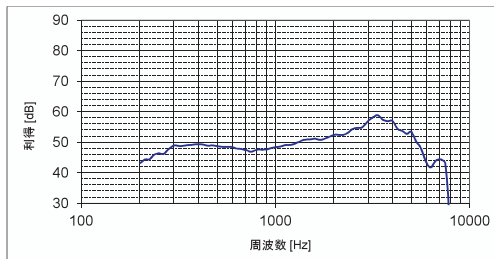
JIS C 5512:2000に基づいて測定されています。

電池寿命は使用状態によって変化します。仕様は予告なく変更される場合があります。

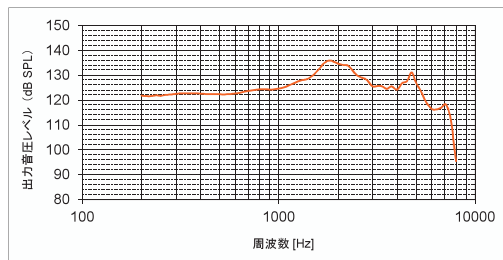
1) 50dBゲインレシーバ OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



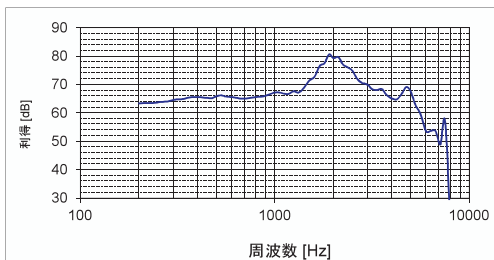
最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)



2) 70dBゲインレシーバ(アブソリュートパワー) OSPL90特性(イヤシミュレータによる測定)



最大音響利得特性(FOG)(イヤシミュレータによる測定)



薬事法第63条の規定による表示

製造販売業者名：スターキージャパン株式会社

住所：神奈川県横浜市都筑区仲町台5-2-20

一般的名称：耳かけ型補聴器

販売名：Xシリーズ耳かけ型

区別：管理医療機器

製造番号：製品本体

認証番号：223ADBZX00106000

保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。
その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただけますようお願いいたします。
また、保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、
無くさないよう大切に保管いただけますようお願い致します。

<メモ>

Lined area for notes with 10 horizontal dashed lines.



スターキージャパン株式会社

 **0120-045-190**

第2種医療機器製造販売業許可番号:14B2X00027

許可番号:14BZ000426

医療器機認証番号 Xシリーズ耳かけ型:223ADBZX00106000

〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-2-20

Tel.045-942-7226 Fax.045-942-7158

BKLT0043-04-JJ-JP JPYBK-043



FM90185 / ISO 9001
MO84856 / ISO 13485